

2014（平成 26）年度 海外体験報告書

カリフォルニア大学デイビス校(アメリカ)

1、留学中の活動詳細について

UC Davis に語学留学している生徒は Extension Center というところで週に 4～5 コマの授業を受けます。授業が始まる前にプライスメントテストと面接があり、そのテストのスコアと面接のスコアに応じてクラスが分けられます。難易度は TOEFL ITP より少し易しいですが、writing は TOEFL ibt の independent task と同じ形式なので TOEFL ITP でこの留学に申し込んだ人は慣れていないと思うので対策をきちんとしていった方がいいと思います。面接は Extension Center の先生方と簡単な質問（どうしてこのプログラムに申し込んだのか、将来はどんなことがしたいのか）を聞かれます。しっかりはつきり話せばまず問題ないと思います。そして、授業初日に時間割の紙をもらいそこから授業が開始されます。Extension のクラスには 100～800 までのクラスがありキャンパスでの授業を受ける事が出来るのは 800 のみです。ただし、GSP プログラムというキャンパスの授業を受けるためにつくられた英語プログラムで来ている人達は Extension の成績は関係なく TOEFL の点数さえクリアすればキャンパスで授業は受ける事ができます。国際交流室のプログラムは IEPP という英語学習をメインとするプログラムなのでキャンパスでの授業を受けるには厳しい条件をクリアしないとイケません。一年間の留学なので、最低でも 500 レベルには入っていないと最後のクォーターにキャンパスの授業を取ることができません。基本的には Grammar, Reading and Vocabulary, Composition なのですが追加で Elective class という TOEFL ibt クラスや Film study クラスなど様々な種類の英語を楽しむための授業を受けることができます。基本的には朝の八時頃から授業が始まり夕方の四時頃には授業は終了します。宿題はクラスによりますが、寝る間もないほど出されるということはありません。クラスの構成はだいたい 12～15 人で日本人や中国人やサウジアラビア人やブラジル人が多いです。ただ Extension では 200 人以上の日本人が勉強しており、あちこちで日本語が飛び交っている環境なので勇気をだして外国人とずっと一緒にいるようにしないと英語は上達しません。クォーターの間には三週間ほど休みがあるので旅行に行くのも良いと思います。アメリカは何より自然がきれいな国なのでどこに行っても感動すると思います。キャンパスのクラスについてですが、僕は TOEFL の条件は最初のクォーターの終りにクリアしたのですが、夏のコンポジションのクラスでリポートを取ってしまったので、条件をクリアできなかったで、結果的には最後の冬のクォーターに開発経済学の授業を二つ取ることになりました。キャンパスの授業を取る条件は近畿大学で GPA3 以上ある事と Extension でのクラスのすべてのクォーターの平均の成績が B 以上である事、一つでも No Pass があると受ける資格を失います。ただ普通に授業に出席をして

いればNo Passをもらうことはまずありません。最大8unitsまで取れて、僕は最大の8unitsとっていたので、Extensionのクラスは一つだけでした。キャンパスでどれくらいの単位をとるかによりExtensionでの授業数が決まります。キャンパスの授業はExtensionの授業より難しいですが、Extensionの800レベルのCritical thinkingという授業はキャンパスの授業並みに難しかったのですが、大変面白い内容で、僕の今後の経済学を学ぶ上で大変大きな刺激となりました。なので、キャンパスと並行して選ぶクラスはCritical Thinkingをお勧めします。生活は一年間ホームステイをしました、一年の途中で引っ越そうかと思いましたが、デイビスのアパートは一年ごとの契約で(九月から次の年の九月)、途中で出ていく場合、次の人を探してから出ていかないといけません。引き継ぐ人を探すのに他の人が苦勞しているのを見ていたので、やめました。ホームステイの家は遠かったですが、常にきれいでしたし、特に干渉されることもなかったので住み続けることにしました。ホームステイの家庭によってはシングルマザーやシングルファザーの家庭も多いので、あまり期待しすぎて申し込むとがっかりすることもあると思います。ホームステイはDavis Housingというところで申し込みましたが、家が学校から遠いところが多かったりするので、そこまでおすすめはできません。デイビスはカリフォルニアの中でも良い場所にあり、サクラメントまでは学生証があれば無料で行けますし、LAまでもサクラメントから飛行機に乗れば一時間半くらいで行けます。なので、旅行に行くのに不便はそこまでしません。デイビスはアメリカの他の町と違い自転車中心の町ですので自転車でダウンタウンや友達のアパートまでとどこへでも行けます。ただその分警察も自転車には厳しく、夜に自転車にライトをつけていなかったりストップサインで一時停止しなかったりすると罰金を払わないといけません。デイビスはアメリカの中でも非常に治安が良く、夜中に町をうろうろしていても何も問題はありますが、夜に人はあまり歩いていないので、気を付けるに越したことはありません。

2、留学の成果について

留学後には視野が確実に広がりました。留学前は色々な国に対してステレオタイプを持っていましたが（中国人は真面目、ブラジル人は陽気、アメリカ人はフレンドリーなど）、実際はその人がどういう人かは国に関係なく人によるという事を大変強く学びました。世界中にも友達ができましたし、英語でものを考えることにより自分の意見をはっきり主張することができるようになりました。留学生と話している中で、日本という国がいかにかの国と恵まれていて、日本製品がいかにかに信頼されているかを実感することができました。ほかの留学生が僕の知らない日本の製品や文化を知っていたことには感銘を受けました。それは今後就活をするうえで業界を絞る大変良い参考となりました。

3、反省点について

Extensionの期間が長かったので、ネイティブのアメリカ人の友達があまりできなかったことはよくなかったと思います。Extensionの他の国からの生徒たちは英語がよくできたとしてもネイティブではないので話しているととても聞き取りやすい英語を話します。ネイティブのアメリカ人は話すスピードも早く、聞き取りにくいので、早めにキャンパスの授業を受けて友達を作っておけばもっと英語力が伸びたと思います。キャンパスの授業を取るにあたってExtensionの成績で少しまずいってしまったので、キャンパスの授業を秋に取れなかった事は大きな誤算でした。キャンパスでの授業は大変難しくあまり良い成績を取れなかった事も反省点です。

4、海外留学を目指している学生へのアドバイスについて

もし目の前に留学のチャンスがあるなら、迷わずに掴み取りに行ってください。TOEFLの勉強は非常に大変だとは思いますが、ITPは文法を中心に勉強すれば高得点を狙えますし、TOEFL iBTはしっかりと対策本を一日五時間程度毎日勉強すれば留学の条件はクリアできます。TOEFLの勉強だけでなく、たまには息抜きに英語村や語学センターを利用すると英語力はグンと伸びると思います。幸いなことに近畿大学は英語を勉強するための施設が充実しており、語学センターでの授業や英語村での会話は留学中も外国人と堂々と会話するのに役に立ちました。留学中に思ったことは、たくさんの日本人が外国人の前では構えてしまいあまり話すことができなく、結局日本人同士で集まるといった場面をたくさん見てきました。近畿大学に留学生はたくさんいると思いますので、普段から留学生と一緒にいることで外国人に対する免疫をつけてほしいと思います。英語を上達させるには、英語を好きになるのが一番の早道だと思うので、Friendsなどのドラマやハリウッドの映画などを英語字幕で見たりすることや、洋楽を歌詞の意味を理解しながら聞くというのかなり効果的なリスニングの練習だと思います。近畿大学のプログラムは派遣留学なので近畿大学の学費の代わりに向こうの学費を自分で払う仕組みになります。アメリカの教育費用は年々上昇しており、日本では比べ物にならないくらい高いです。エクステンションの学費は3500ドル(41万円)でキャンパスの学費は1units 300ドルなので8units取ると2100ドル(25万円)です。たとえExtensionの授業を一つしかとっていても授業料はフルで払うことになります。すると年間で学費は最低でも、18200ドル(217万円)は必要です。さらに家賃が最低でも一か月500ドル(6万円)で食費が140ドル(1万6000円)だとすると生活費は最低でも約90万円必要です。最低でも350万円ないとこの派遣留学は難しいですが、留学の条件をクリアすると、近畿大学から30万円の奨学金がもらえますし、他にも早めに申し込めば大阪府や他の機構から奨学金がもらえます。留学は人生の中で、そう何回もできるものではなく、得られるものもすごく大きいので、諦めずに挑戦してほしいと思います。